

IV 普及・展示事業

1. 展示

一般多数の方々を対象とした東洋学の普及を図る手段として、「東洋文庫ミュージアム」を運営した。

A. 基本方針

このミュージアムでは、特に東洋学に興味を持たない一般の方々を主な対象とし、幅広い世代の利用者に、ミュージアム見学を通して東洋学に興味を持つ機会を提供するものである。本ミュージアムは、東洋文庫の蔵書・史料を中心に種々の展示企画を組み立て、常に新たな発見と変化のある展示を心がけている。

B. 展示手法

広く一般の方々にミュージアム訪問の興味を喚起するため、①見学に適切な規模の展示内容とし、②展示の解説は日頃東洋学とは疎遠な利用者にも十分理解できる簡易なものとし、③デジタル技術等を取り入れた視聴覚的かつ斬新な展示で利用者の興味を引くことに努めた。

C. 施設

温度・湿度管理、窒素ガス消火設備運用により、展示図書・資料の保全に万全を期した。また、併設のギフト・ショップ、ミュージアム・カフェでは、東洋文庫の所蔵資料も紹介し、一般利用者に対してミュージアムの魅力を高め、東洋学普及の一翼を担う、ミュージアムの一体施設として運営した。

D. 展示スケジュール

名品展と企画展の組み合わせからなる展示スケジュールを立て、以下の展示を開催した。

- (1) 名品展は国宝と重要文化財を中心に構成されており、保存と集客の観点から、毎月初めに展示資料の入れ替えを行った。
- (2) 企画展は一年に3回の頻度で行っている。本年度は以下の企画展を実施した。

〈企画展〉

- ①「ロシア革命100周年 ロマノフ王朝展—日本人の見たロシア、ロシア人の見た日本」(2017年1月7日～4月9日)
- ②「ナマズが暴れた!? 安政の大地震展—大災害の過去・現在・未来」(2017年4月19日～8月6日)
- ③「モリソン文庫渡来100周年 東方見聞録展—モリソン文庫の至宝」(2017年8月16日～2018年1月8日)
- ④「ハワイ日系移民渡航150周年 ハワイと南の島々展」(2018年1月18日～5月27日)

〈名品展〉

「記録された記憶～東洋文庫の書物からひもとく世界の歴史」

- (3) 各企画展において展示図録を作成した。全ページカラーで画像を多用し、解説文も平易なものわかりやすいものに仕上げた。A5版でハンディなブックレットタイプである。
- (4) 上記企画展会期中に公開講座（企画展示記念講座）を開催した。講演者と演題は81～84頁の通りである。
- (5) 六義園特別展示「六義園をめぐる歴史」を開催した。
会期：①3月15日～4月9日、
②11月15日～12月4日
会場：東洋文庫ミュージアム1階オリエントホール

E. ガイドツアー

ミュージアムへの来客サービス・集客戦略の一環として、館内ガイドツアーを実施し、好評を得た（開館期間の毎日15時に開催した）。

F. ミュージアム諮問委員会

ミュージアムの運営について外部有識者の意見を取り入れるため、ミュージアム諮問委員会を2017年11月9日（木）に開催した。

G. 学習支援事業

(1) 学校連携

- ① 東京藝術大学との協力協定により、記念コンサートを複数回ミュージアム内にて開催し、多数の来場者を得た。また、同学彫刻科の卒業作品から一作品を選出して「東洋文庫賞」を授与し、東洋文庫敷地内のオープンスペースにて1年間作品を展示した。
 - ② 成蹊大学図書館での協力協定により、東洋文庫の貴重書を大学図書館入口にて常設展示した。
 - ③ スクールパートナーシップを結んでいる東京都小石川中等教育学校の中学1年生40名の校外学習（ミュージアム見学・職場インタビュー）を実施した（4月28日）。
 - ④ 文京区立駕籠町小学校の社会科授業を、学芸員が2回にわたり行った（6月15日：縄文時代～平安時代、7月11日：解体新書を中心とした江戸期文化史）。
 - ⑤ キャンパスパートナーシップを結んでいる青山学院大学文学部の学生2名を6月27日～7月6日の7日間、東洋大学文学部の学生2名を11月29日～12月7日の7日間学芸員が対応し、博物館実習を行った。
 - ⑥ 文京区社会科部研究会からの依頼で、学芸員が発表を行った（8月23日）。
 - ⑦ 文京区立駕籠町小学校2年生の授業「まちたんけん」に学芸員が対応した（10月31日）。
 - ⑧ 筑波大学附属視覚特別支援学校中学部男子2名東洋文庫ミュージアム運営に関する職場体験を実施した（11月10日）。
 - ⑨ スクールパートナーシップを結んでいる東京都小石川中等教育学校の高校1年生4名を7月20日、7月23日、8月3日の3日間に分けて受け入れ、ワークショップ補助、ミュージアムショップの受付補助の職場体験を行った。また、同校中学2年生2名の職場体験を11月15日～17日に行い、学芸員他が対応した。
 - ⑩ インターン制度を設け第六期（2月～4月）2名、第七期（5月～8月）1名、第八期（10月～1月）1名、第九期（3月～）2名、学芸員が対応し就業体験をした。
- (2) ミュージアムワークショップ、イベント

幅広い年齢層にミュージアムをお楽しみ頂くために、学習支援事業の一環として、下記のワークショップとイベントを開催した。

- ① 5月7日(日)・6月4日(日) 「遊んで学ぼう!地震の仕組み」
実験監修・指導:伊豆原月絵(日本大学教授)、日本大学理工学部スチューデントキュレーター
- ② 5月14日(日)・6月25日(日) 「気象予報士あまたつのお天気ラボ～めざせ!気象予報士 大実験もある!～」 講師:天達武史(気象予報士)
- ③ 6月18日(日) 「熊本支援チャリティ 映画『うつくしいひと』上映会」
- ④ 7月23日(日) 「製本体験シリーズ第4弾!じゃばらの本をつくろう」 講師:篠木由喜(東洋文庫研究員)
- ⑤ 11月26日(日) 「Smell Voyage ～本の香りのワークショップ～きみだけの東方見聞嗅録を作ろう!」 講師:井上尚子(愛知県立芸術大学非常勤講師)、白須未香(東京大学ERATO特任助教)
- ⑥ 12月9日(土) 「西本智実 第25回イルミナート教育プログラム:オペラワークショップ 修道女アンジェリカ」
- ⑦ 1月26日(金)・2月23日(金) 「カヴェリナフラショー」 ダンス:東京大学フラダンスサークル KaWelina
- ⑧ 1月28日(日) 「古典フラについて知ろう」 講師:古賀まみ奈(フラダンサー)
- ⑨ 3月25日(日) 「親子でフラ」 講師:古賀まみ奈(フラダンサー)

H. 文京区向けの普及活動

- (1) 【文京区制70周年記念】公益財団法人文京アカデミー主催、文京ミュージアムネット親子講座・六義園・東洋文庫講座「歴史と香りの世界旅行!」書庫見学及び本の香りの講座を行った。(7月25日)
- (2) 文京区千石図書館との連携講座として、近隣住民を対象に、研究員の案内によるバックヤードツアー(9月11日)、学芸員による講演会(9月17日)を開催した。
- (3) 文京区の文の京ミュージアムネットワークの会員で文京ミュージアムフェスタ(各施設による展示・体験コーナー、PRポスター、パネル等の掲示)に参加した。(12月14日、於:文京区役所1F)

I. 図書展示コンサルティング

ミュージアムにおける図書資料展示の経験を役立てるため、学芸員が下記の図書館・団体に講演と実演を行った。

- (1) 専門図書館協議会全国集会分科会（2017年6月30日、於：機械振興会館）
- (2) 国立国会図書館説明聴取会（2018年3月8日、於：国立国会図書館）

J. 入場者数

2017年4月1日～2018年3月31日における、ミュージアム総入場者数は以下のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入場者数	3,877人	2,222人	2,189人	3,674人	2,635人	2,655人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	2,449人	3,939人	3,743人	2,966人	1,667人	2,700人
						計
						34,716人

2. 広報普及

東洋文庫所蔵の図書・史料の掲載・報道・放映等の依頼に適宜対応すると共に、ホームページを随時更新し、利便性を確保した。東洋学の若年層への普及を目指し、学校連携活動も行った。

A. 要人の訪問

- 4月7日（金） 日本科学未来館館長 宇宙飛行士 毛利衛様
- 7月21日（金） ローラン・ピック駐日フランス大使
- 9月8日（金） 三菱金曜会
- 10月2日（月） 大英博物館 ハートウィグ・フィッシャー館長
- 10月25日（水） 国際学士院連合
- 12月27日（水） リチャード・コート駐日オーストラリア大使

- 1 月 17 日 (水) グスタボ・アジャレス駐日チリ大使
- 1 月 18 日 (木) ハーバード大学アジアセンター所長 Karen Thornber 教授
- 2 月 25 日 (日) ウィリアム・ハガティ駐日アメリカ大使

B. 報道実績

ミュージアムに関する報道実績の主なものを以下に挙げる。

新聞：『朝日新聞』、『産経新聞』、『東京新聞』、『日本経済新聞』、『読売新聞』など

雑誌：『マンスリーみつびし』

『和テンション』（和テンション株）

『東京近郊の自然散歩 スニーカーで歩く 24 コース』（JTB パブリッシング）

『ぶらぶらミュージアム』（散歩の達人 POCKET）（交通新聞社）

『TOKYO美術館 2018-2019』（権出版社）

『いま気になる東京100の体験』（JTB パブリッシング）など

交通広告：『【FUN!TOKYO!】29 の物語』 JR 山手線（車内ビジョン）

『都バス沿線イベント情報』 都営交通（都バス 窓上ポスター）など

C. 『東洋見聞録』

東洋文庫の活動をご支援頂いている「名誉文庫員」、「友の会会員」、職員OBほか関係者をつなぐニュースレターとして発行・頒布した。また、モリソン文庫渡来 100 周年を記念して、モリソン特集号を発行した。

D. メールニュース

東洋文庫ミュージアムのメールニュースをメール会員向けに毎月発信した。

E. 中学・高校・大学とのミュージアム・フリーパス連携

- ・小石川中等教育学校とのミュージアム・フリーパス連携を引き続き締結した。
- ・青山学院大学文学部史学科とキャンパスパートナーシップを引き続き締結した。
- ・今年度から東洋大学文学部・文学研究科とキャンパスパートナーシップを締結した。